

# ふうあい おたより

2019  
vol. 26



→ 浪江町「希望の牧場」  
新しい看板



→ 2013年不意の事故で足を骨折して切断了た2代目福ちゃん。吉沢さんやボランティアアさんに支えられながら、元気に生かされています。



## contents

- つながるココロ 2
- ふるさとレシピ 3
- よろず相談コーナー 4
- 茨城県内の避難者受入状況 5
- ふうあいねっとについて 6
- イベント一覧 7
- アンケート調査結果 7
- 住宅サポート相談 7
- ふくしまフォトアルバム 8



この4月から赴任された  
新しい先生や県職員を紹介します！



児童生徒支援相談員 内野 智美

## 児童のみなさん、保護者のみなさん ご相談ください！

今年度、福島県から震災対応派遣教員として茨城県に派遣されました内野智美(うちのともみ)です。昨年度までは県内北部担当が水戸市、南部担当がつくば市にいましたが、今年度からは水戸市に1名のみになりました。

出身は相馬郡に位置する新地町です。私は福島県民であるにもかかわらず、会津の「馬刺し」は味噌味であることを、お酒が飲める年齢になるまで知りませんでした。福島県の面積は全国で第3位ですから、県内の広さに比例してそれぞれの地域の特色が異なることは心得ていましたが「こんなことも知らなかったのか」と少しショックを受けた体験でした。

県内でも知らないことがあるのですから、県外へ転居された皆さんは「分からないことが分からない」状態から生活がスタートし、大変ご苦労があったのではないのでしょうか。

あの大地震から8年が経過しました。新しい転居先での生活の中で、新たな悩みや不安は出てきていませんか。お子様にかかわる教育相談(学校での生活・学習の悩みについて)、進路相談(転入・転学先等)など、教育情報等でお困りのことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。学校、福島・茨城県教育委員会、「ふうあいねっと」と相互に連携を図りながら、皆さんのお役に立てるよう努めてまいります。

水戸市立緑岡小学校 TEL.029-241-1923 (月・火・水・金)  
水戸市総合教育研究所 TEL.029-244-6730 (木/9:00~17:00)

## 皆様の声をお聞かせください

福島県避難者支援課の奥山と申します。今年度の4月より、茨城県の駐在職員として着任いたしました。

福島県の現状として、震災から8年以上が経過し、復興に向けて着実に進んでいる部分がある反面、未だに県内外で大勢の方が避難生活を続けている状況にあります。

駐在職員として、復興支援員との戸別訪問や、「ふうあいねっと」を始めとした支援者の皆様との連携することによって、少しでも皆様の一助になりたいと思っております。(奥山昂平)

### 福島県復興支援員より

商店街や住宅の再生、人々も徐々に戻ってきている様子等拝見しています。私も福島県からの人々に情報をお伝えし、要望をお聞きし、お役に立つ活動をして参ります。よろしく願いいたします。(糸井実)

今年の4月から復興支援員になりました魚津です。震災から8年が経ち、当時とまた違うお悩みが出てきた方もおられると聞いています。短い訪問時間ではありますが、

## 福島県避難者支援課茨城県駐在 福島県復興支援員

が、少しでもお力になればと思います。(魚津真喜子)

復興支援員の活動も5年目を迎えようとしています。現在のお暮らしのご様子、健康状況などお伺いしていますが日常のささいな出来事や、ご趣味の事など、いろいろなお話を聞かせてください。皆さまにお会いできること、楽しみにしております。(武田和枝)



左から 糸井、魚津、武田、奥山

趣味は、テニス、マラソンです。  
筑波山にも登ってみたいと思っています。(奥山)

福島県避難者支援課 TEL.024-521-8318 または 茨城県防災・危機管理課 TEL.029-301-5977  
福島県復興支援員(月~木/9:00~17:00) TEL.080-8083-7909

## 皆様のこころの健康を願って — 私達にできること —

日本精神科看護協会 茨城県支部長 倉橋 憲一



はじめまして。私達は日本精神科看護協会茨城県支部の会員である看護師です。私達は福島県が実施している〈県外避難者こころのケア訪問事業〉の一環で個別訪問をしています。多くの方は、【精神科】と聞くと「自分は病気じゃない」「自分は関係ない」と感じると思います。しかし、私達が行っているのは、人が生きていくうえで誰しもが抱く様々なストレスからくる【こころの不調】に焦点を当て、個別訪問をし、お話を聞かせていただく活動です。

避難したことで生じた生活の変化、仕事のこと、家族のことなど、様々なストレスを受け、その中で辛い経験や多くの我慢をされてこられたと思います。

人のこころと体は繋がっています。こころに大きな負担がかかると、眠れない。寝つきが悪い。何となく怠い。理由なく元気がない。など体にも何かしらの影響が出やすくなります。そのようなこころの負担を少しでも減ら

すことができるように、私達はお手伝いさせていただいています。

私達ができることは【聞くこと】と【つなぐ】ことです。

それは、避難者の方々のこころの重しが少しでも軽くなるように、お話を聞かせていただくことです。そして体のことや生活のことで不安に感じていることを、皆さんの意向を尊重しつつ、必要な支援が受けられるようにつないでいくことが私達の役割です。

遠慮なく、こころのケア訪問事業のフリーダイヤルにご連絡いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



倉橋、黒澤(左)、長島(右) 他5名で訪問活動をしています。

予約訪問お問い合わせ TEL.0120-357-257

## ふるさとレシピ Vol.11

レシピ提供：南相馬市 ノリオさん

### 味噌かんぷら



#### 材料

- ★じゃがいも(小) …………… およそ600g
- ★砂糖…………… 大さじ3
- ★みそ…………… 大さじ3
- ★みりん(酒や水でもOK)……大さじ1
- サラダ油 …………… 多め

★は合わせておいた方が溶けやすい。  
味はお好みで調整してください。

「かんぷら」とは福島県の方言で「じゃがいも」という意味です。新じゃがいもの出回る季節。おやつにぴったり!

#### 下準備

じゃがいもがスツと竹串(つまようじ)が通るくらいにレンジで温める。

#### 作り方

- ① フライパンに多めのサラダ油をひき、じゃがいもを炒める。※レンジを使わないでそのまま炒めると20分くらいかかります。
- ② 竹串(つまようじ)がスツと通るまで炒めたら、いったん火を止めてフライパンの余分な油をキッチンペーパー等で拭き取る。
- ③ 再び火をつけて、フライパンに合わせておいた調味料を入れて、水分を飛ばしながらからめる。できあがり!





### 2020年以降も避難先における住民票なしでの行政サービスは継続されます！

2019年4月24日(水)、復興庁と当事者の方との意見交換会を1時間半程度、茨城大学で開催しました。復興庁からは、菊地参事官、原田参事官など3人が参加されました。こちらからは南相馬2名、双葉2名、大熊1名、浪江4名が参加しました。

- 現在の心境と帰還について
- 過去、現在の暮らし、仕事について
- 交流会について
- 国、自治体への要望

というテーマについて思いを話されました。



「現在の心境は、帰る2割、帰らない8割」と、みなさんが復興の有り方や、除染の状態に、もやもやとした状態のようでした。その中でも、「被災地に残してきた土地をどのように相続していくか、使えないような土地に税金を支払うのか…」という声、「負の遺産ともなってしまう土地の相続税に軽減措置を行って欲しい。」という要望がでました。

また、原発避難者特例法は、避難先で落ち着いて生活するために必要なもので、復興・創生期間後も廃止せず、継続して欲しいという意見に対して、復興庁被災者支援班から、

復興庁は時限組織としてあと2年をめどに組織改編が予定されていますが、総務省が所管する「原発避難者特例法」は年限の定めはないです。住民票を移さず、避難先で教育・福祉などのサービスが受けられる制度は、特段のことがない限り2021年度以降も継続されそうです。

という回答をいただきました。これまで通りのサービスが受けられるのでちょっと安心ですね。

### こんなよろず相談がありました！

昨年度は、住宅家賃の支援が打ち切りとなった影響で、住宅に関する相談が多くありました。ご高齢で一人暮らしだった方が、アパートから思いきってケアハウスに入居された方もいらっしゃいました。今年度も支援終了の対象となる町があります。引っ越し、どうしようかな…と、不安な際にはご相談ください。



よろず相談受付中！お気軽にご連絡ください。相談日：毎週火・水・木曜日(9:30～16:30)  
TEL.070-3182-4044 Eメール [fuai.soudan@gmail.com](mailto:fuai.soudan@gmail.com) (北澤・ニッ森)



ふうあいおたよりをはじめ、大切なお知らせをお届けするためにも「全国避難者支援情報システム」登録にご協力ください。

## 茨城へお越しのみなさまへ

### 避難先情報(全国避難者情報システム)の届出のお願い

新生活を始めた人、これから始めようとしている人、避難先の情報に変更がありましたら避難先情報の届出をお願いします。福島県や避難元市町村、また避難先の市町村からのさまざまなお知らせをお届けすることができます。

転出される際にも元避難先市町村にできるだけ届出をお願いします。(不要なお知らせが何回も転送される可能性があります)

情報提供先	①	13指定市町村※から避難されている方	避難元の市町村
	②	①以外の市町村から避難されている方	避難先の市町村

※13指定市町村(いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾町、飯舘村)

# 茨城県内の避難者受入状況

ここに示した数字は、岩手県・宮城県・福島県から避難されている方の人数です。

※平成31年4月12日現在

( )の数字は平成30年4月の調査結果です。

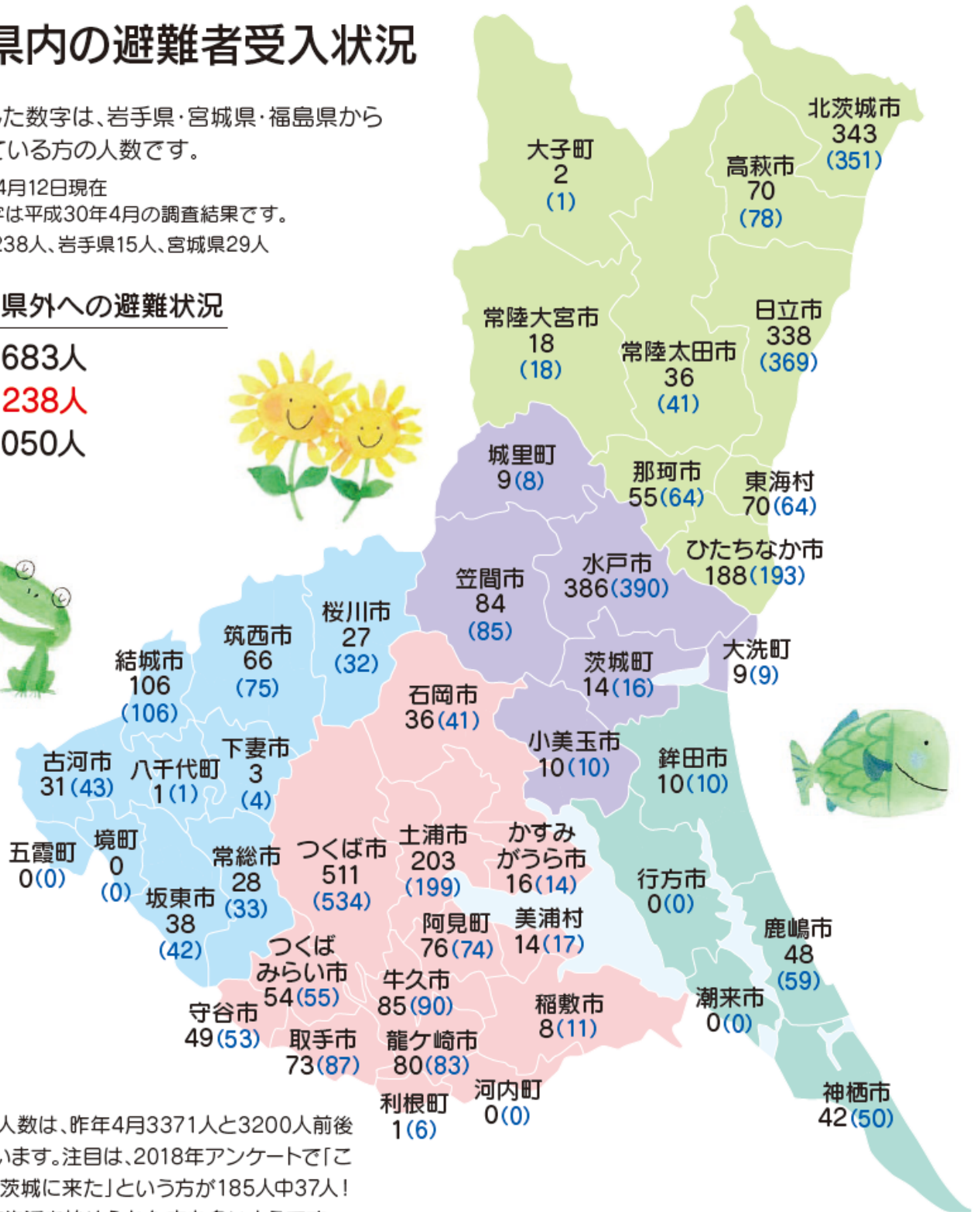
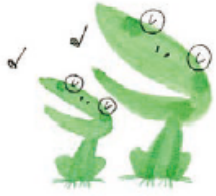
※福島県3,238人、岩手県15人、宮城県29人

## 福島から県外への避難状況

東京 3,683人

茨城 3,238人

埼玉 3,050人



茨城県内の人数は、昨年4月3371人と3200人前後で推移しています。注目は、2018年アンケートで「この2~3年に茨城に来た」という方が185人中37人！最近、茨城で生活を始められた方も多いようです。

※復興庁「全国の避難者数」調査のうち福島県分を抽出

見積無料

創業30年(双葉町)ビル・ハウスクリーニングの会社です。現在日立市で営業しています。

- ハウスクリーニング
  - 車のシートクリーニング
  - エアコンクリーニング
  - 空き家・空き地管理その他
- (店舗・オフィス・マンション・アパート・一戸建て)

### 対応エリア

#### 茨城県

- ・日立市・高萩市・東海村・北茨城市
- ・ひたちなか市・常陸太田市・水戸市

#### 福島県

- ・浜通り全般

お問合せ

0294-87-6413



株式会社 マルイソウビ



Empty Base

〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師2208-3



## “ふうあいねっと”は、 一般社団法人として歩み始めます。

いつも温かいご支援ありがとうございます。“ふうあいねっと”は、2012年から任意団体として活動してきましたが、今後も活動を続けていくためには、社会的に認められ、地域社会から支えていただける団体となる必要があると考えてきました。

そこで当事者グループや関係者の皆さんとも話し合い、2019年4月より一般社団法人という形で活動を継続していくことを決め、無事に法務局への法人登記も完了いたしました。再出発しますが、今までと変わらず「東北・福島の方と茨城の人のつながりをつくる。人と人のつながりをつくる」を第一に活動していきます。さまざまな状況や困難について、解決のために伴走させていただいていますが、2020年度末の復興庁廃止後も、細く長く活動を続けていきたいと思っています。

### ～ちょっとご紹介～

- 理事会や事務局には、東北・福島の方が参加して当事者目線の活動・活動報告を大事にしています。
- 団体の会計については、団体HPで公表しています。
- 会員を募集しています！



ふうあいねっと事務局スタッフ

### 一般社団法人 ふうあいねっと

代表理事 原口弥生

副代表理事 武田直樹

副代表理事 横田能洋

理事 浅野秀蔵

理事 石田貴博

理事・事務局長 大里千恵子

理事 小野田真澄

理事 長谷川美幸

理事 渡部友紀

監事 古山均

監事 関健太郎



引き続きよろしくお願ひします

パルシステム茨城 栃木は、  
福島第一原発事故により  
被害に遭われた皆様に  
“忘れない”を合言葉に  
支援し続けます。



生活協同組合パルシステム茨城 栃木  
本部/〒310-0022 水戸市梅香2-1-39 TEL.029-227-2225  
<http://www.palsystem-ibaraki.coop/>

### ともにはぐくむくらしと未来

いばらきコープは、組合員から寄せられた募金等を活用して「福島の子ども保養プロジェクト」(通称:コヨット)など、福島の方を支援する取り組みをすすめています。



co-op コヨット  
いばらきコープ  
食卓を笑顔に、地域を豊かに。

茨城県小美玉市西郷地1703 電話(代表)0299-48-3243  
<http://ibaraki.coopnet.or.jp/>

# イベント一覧

## アロマクラフト作り

7月25日(木) 10:00~12:00

申込み・問合せ先 090-4880-8781

会場:ふれあいセンターごだい(那珂市)  
 内容:交流会  
 参加費:500円/1人  
 主催:じゃあまいいかねっと



那珂市

## 茨城の美味しいを知る

### 「行方ファーマーズビレッジ見学(スウィートポテト調理付)交流会

7月21日(日) 10:00~13:00 会場:行方ファーマーズビレッジ(行方市宇崎) 参加費:500円/1人

### 「ぶどう狩り」交流会

9月21日(土) 10:00~13:00 会場:高須ぶどう園(行方市玉造甲) 参加費:500円/1人

申込み・問合せ先 090-6188-4867(武田) 内容:交流会 主催:NPOフュージョン社会力創造パートナーズ



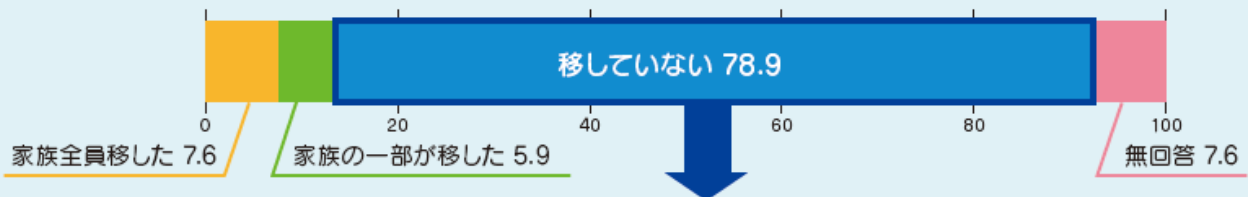
行方市

## 茨城県内への広域避難者アンケート結果を一部で紹介します ~住民票について~

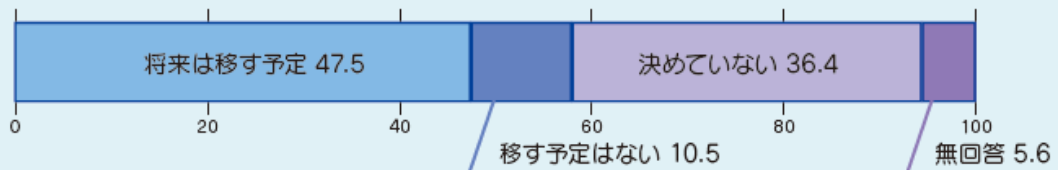
実施時期:2018年10月~11月 実施者:茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター

発送数1243票、回収数185票 [調査結果はこちら⇒http://shimin.hum.ibaraki.ac.jp/files/genshiryokuchosa20190305.pdf](http://shimin.hum.ibaraki.ac.jp/files/genshiryokuchosa20190305.pdf)

### 1. 住民票は、現在のお住まいの住所に移しましたか? (回答数185人)



### 2. 将来は、どのように考えていますか? (回答数77人)



## 住宅サポート相談受付中



福島県からの業務委託を受けて、「避難者住宅・移転サポート事業」を実施しています。  
 昨年は書類作成のお手伝いから不動産への同行まで行いました。

### サポート対象世帯

- 令和2年3月末に応急仮設住宅の供与が終了する、富岡町、浪江町、並びに葛尾村、飯館村の帰還困難地域から避難している世帯
- 平成31年3月末までに応急仮設住宅の供与が終了した世帯

### サポート内容

- 電話相談
- 希望により地域の住宅サポーターがお伺いします
- 不動産屋への同行
- 引っ越し業者の手配

※その他の地域でも、住宅確保に向けた支援が受けられる場合もあります。  
 お問い合わせください。

お問い合わせ・相談は、ふうあいねっと事務局まで

# ふくしまフォト アルバム



↑川内村 五社山山頂



→いわき市四倉港防波堤灯台



→川内村 五社山入口

→富岡町夜ノ森駅前通り  
(帰還困難区域)



→川内村 阿武隈民芸館

→浪江町末森地区農産物  
直売所(帰還困難区域)



## ご支援いただける方へ

「ふうあいねっと」の活動・運営は、趣旨に賛同して頂ける皆さまからのご支援・ご協力を必要としています。ご寄付いただいた場合は、別途、電話やメールにて、連絡先をお伝えいただけますと幸いです。

### 入金先

一般社団法人ふうあいねっと

ゆうちょ銀行 [記号]00260-7 [番号]141628  
※他金融機関から振込する場合は  
[店名(店番)]〇二九(ゼロニキユウ)店  
[口座番号]0141628

常陽銀行 末広町支店 普通 [口座番号]1657135

## ご寄付ありがとうございます

尾崎 久記様 大里 晃弘様 原口 弥生様  
(水戸市) (ひたちなか市) (水戸市)  
皆様のお気持ち大切にさせていただきます

## ふうあいねっとでは、書き損じハガキを集めています!

おたよりチーム 阿部香織 天井優志 石田貴博 M.I 大里千恵子  
小野田真澄 きさらぎ 北澤安芸 小林真由美 原口弥生 みさびー

### 編集後記

ネモフィラは、国営ひたち海浜公園が有名ですが、この春、私は千波公園、四季の原で美しいネモフィラを眺めました。花言葉の一つは、「あなたを許す」だとか。令和元年を迎え、自分の心もゆるめて穏やかに日々を過ごしたいものですね。(小野田)

### 発行元・お問い合わせ先

一般社団法人ふうあいねっと **会員募集中!**

〒310-0056  
茨城県水戸市文京2-1-1 茨城大学教育学部A413  
TEL・FAX.029-233-1370 Eメールfuai.sta@gmail.com  
事務局携帯TEL.070-3182-4044

震災と原発事故により福島県などから茨城県に避難されている方々をサポートするためのネットワーク組織です。

ホームページ <https://fuainet.jimdo.com>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/fuainet/>



令和元年度福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業

印刷/富士オフセット印刷株式会社 <http://www.fuji-offset.co.jp>

# ふうあい おたより vol. 26

## 今回の表紙イラスト

art POCKET lab. 七字 純子さん

ひたちなか市の海岸に咲くスカシユリを描きました。この花は、ユリ科ではめずらしく上向きに花を咲かせます。そして、花言葉は「元気」。新しい時代を、この花のように上を向いて元気に力強く歩んで行きたいですね!

## 事務局日記

- 2/18(月) 「いってみっか」刊行報告会(筑波学院大学)
- 3/ 3(日) 「ふくしまを未来へつなぎ、伝え続けよう!」開催(笠間市トモア)
- 4/24(水) 復興庁との意見交流会
- 6/24(月) 一般社団法人ふうあいねっと通常総会  
映画「それぞれのヒーローたち」上映会(水戸)